

文化財を訪ねる かみのかわ山さな旅

古墳と伝説を訪ねて（上郷）

5月号で上三川は、古墳の多い町と紹介しましたが、今回紹介する上郷地区にも、大きな古墳がいくつかあります。

磯川遊歩道の北側、日産自動車栃木工場に隣接し愛宕神社があります。この愛宕神社は、毎年8月に行われる子ども相撲で有名ですが、神社の社殿が建っている丘が、今から1500年前に作られた丸い形をした古墳（円墳）です。この古墳の直径は42m、高さは5mあります。

この愛宕神社古墳から東に約700m、江川の西側の位置にあるのが、上郷瓢箪塚古墳です。この古墳は、前方後円墳と呼ばれる鍵穴の形をしたもので、全長は68mあり、町内最大規模の古墳です。

上三川町には多くの伝説や民話が語り継がれていますが、中でも最も有名なものは、「ねずみ観音」のお話です。昔々、馬になりたいねずみが、夢の中でお地蔵様に願いをかなえてあげようと言われたものの、顔だけが馬で、体はねずみのままになってしまい、はずかしさのあまりに死んでしまい、あわれに思ったお地蔵様が、ねずみを馬頭観音にしたというお話ですが、この「ねずみ観音」は上郷瓢箪塚古墳から南東に1km離れた、県道下岡本・上三川線の東の水田

の中にあります。

この「ねずみ観音」から北東に900m離れた満福寺には、樹齢350年以上と言われるイチヨウの木がありますが、1868年4月18日に新撰組副長であった土方歳三を隊長とする部隊が入り、官軍方であった黒羽藩士3名を、門前にて斬り捨てたと伝えられています。

梅雨の季節に入り、外を歩ける日が少なくなりますが、久しぶりに晴れ渡った日に、身近な文化財を訪ねてみてはいかがですか。きっと新しい発見があると思います。



大報川柳

岡島秀宝 選

水虫も一緒に歩く靴の中

石田 柳田 政彦

良い方にとろう気楽な老いの日々

上蒲生 菅原 妙子

見つからぬ靴は隣のポチに聞く

石田 柳田キミ子

たつぷりの暇へ知恵の輪まとまらず

大町 大八木トク

連休になんにも予定ない二人

石田 稲葉 チイ

確実に時を刻んで来る季節

上蒲生 渡辺 文子

引きしまる気持にもなる農繁期

石田 大塚 ナカ

広告が圧倒している日刊紙

上蒲生 菅沼 マサ

そば打ちに凝った男の台所

上蒲生 柳田 智江

年金の支給日少しおごる膳

石田 大島笑太郎